

令和7年度

栄小学校 3年生

地域とともにある学校づくり

コミュニティ・スクールの充実

西東京ふるさと探究学習

単元名： フードロスについて考えよう
(活動名)

ねらい： 社会の西東京市の農業の学習や「農のアカデミー体験学習」で野菜を育てる体験活動、栄養士から給食の話や献立検討の際に大切なことを聞く活動などを通してフードロスについて課題をもち、フードロスを減らすために自分たちにできることはないかを考えて、探求した内容を隣の小学生に伝える活動を通して地域社会の一員として課題意識をもって社会参画してほしいと願い本単元を設定した。



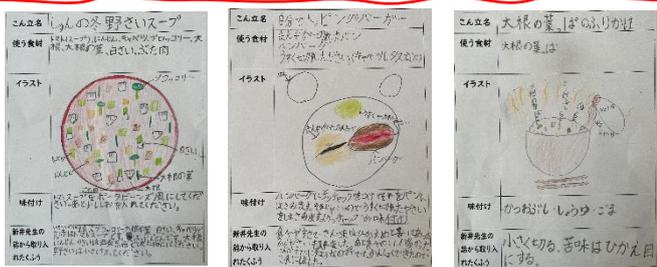
【9月 大根の種まき・10月 大根の間引き】

畑に行って、大根の種まきや間引きを体験しました。間引きした大根は各家庭で料理に使い、フードロスを意識する経験となりました。



【11月 大根収穫・給食】

収穫した大根は、「大根スパゲティ」として給食の献立に出してもらい、「大根をおいしく食べてほしい」と給食放送で伝える取り組みも行いました。



【12月 給食の献立作り】

「自分たちでできること①」として、給食の食べ残しが少なくなるように、栄養士の話で聞いた、色取り・食べやすさ・バランス・食育などの工夫を取り入れて献立を考え、提案しました。



【12月 まとめ】

「自分たちでできること②」として、フードロスのアンケートをとったり、学校や家でやっていきたいことを考えたりしました。この後は、まとめの発表に向けた準備を進めていきます。

まとめ コラム

社会の農業の学習から始まり、「農のアカデミー体験学習」や給食に関わる活動を通して、フードロスについて「身近なことからできることを、日々の生活の中で実践してみよう」とする気持ちが育ってきました。一人ひとりがフードロスについて関心をもち、実践してみようとする意識が大きな力となることを願っています。